

資料10 仮校舎の概要

仮校舎の配置、平面計画

(1) 配置方針

新校舎の建築工事期間中、第七小学校の児童等が安全安心に過ごすことができ、登下校できるよう、仮校舎の場所や規模については配慮が必要です。第七小学校に仮校舎を建設する場合には、仮校舎での学習と既存校舎の解体・新校舎の建設工事を同じ敷地内で行うこととなり、児童の安全確保の面で課題があるとともに、学習中の騒音の問題があります。特に、ことばの教室(通級指導教室)については、音への配慮が必要となります。

また、新校舎建設のため、第七小学校の既存校舎は解体するため、既存校舎を仮校舎として使用することができないことから、新たに建築する仮校舎の規模が、既存校舎と同等の規模となります。

以上のことから、第九小学校敷地にて既存の第九小学校校舎を活用した仮校舎を計画します。

(2) 配置計画、平面計画(イメージ)

仮校舎使用時から第七小学校と第九小学校を統合し、すべての児童が母校として等しく学校生活を送れるよう、学校の統合時期を「令和9年4月」とします。

仮校舎使用時から学校を統合することで、既存の九小校舎を仮校舎として利用することが可能となるため、既存九小校舎では足りない諸室を九小校庭に増築します。その結果、新たに増築する校舎を必要最小限とすることが可能となります。

新校の仮校舎 = ㊤既存の第九小学校校舎 + ㊦増築する校舎

両校児童の交流期間を確保するとともに、仮校舎の建設費用を抑える等の観点から総合的に判断して、増築する校舎は平屋とすることとし、以下の内容のイメージで仮校舎を計画します。

■㊤ 既存の第九小学校校舎で新校として利用する諸室等

(既存施設)・体育館、プール、校庭

- ・普通教室、音楽室、家庭科室、理科室、図書館、図工室、視聴覚室、保健室、主事室(用務員室)、校長室、職員室、事務室、配膳室、放送室、少人数教室
- ・放課後子ども教室

(九小既存校舎に諸室を新設)

- ・現在の七小の「ことばの教室」を既存九小校舎内の諸室に設置
- ・現在の少人数教室1教室を普通教室とし、既存普通教室8教室+1教室=9教室とする。

■㊦ 増築部分の諸室

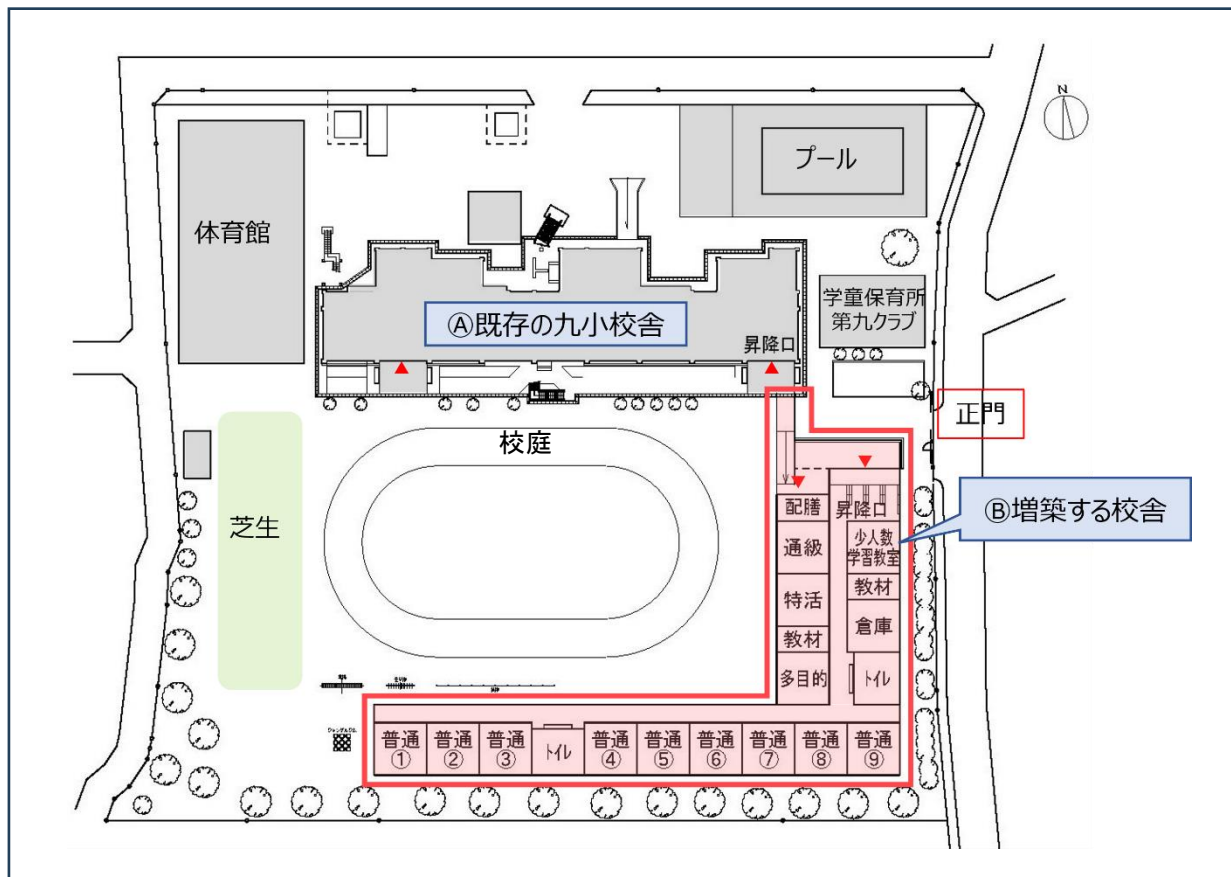
- ・普通教室:9学級(統合時、新校は18クラスと推計。既存九小校舎に普通教室9教室)
- ・少人数教室:1室 ・多目的室:1室
- ・通級教室:1室 ・特活室:1室(通級教室の集団指導用)
- ・その他:倉庫(普通教室1教室分)、教材室、昇降口、廊下、トイレ

仮校舎 平面計画のイメージ

- ・第九小学校の敷地にて、既存の九小校舎を新校の仮校舎とし、足りない諸室を校庭に増築する。

新校の仮校舎 = ①既存の第九小学校校舎 + ②増築する校舎

- ・九小の校庭に増築する校舎は、安全面・利用面の観点から「平屋」とする。
- ・「②増築する校舎」の延べ面積は、約 1,500 m²を想定する。



※ 仮校舎の配置計画、平面計画(イメージ)については、方針を示すものです。今後、基本構想に基づいて設計等の検討を進める中で、変更となる場合があります。

(3)その他

仮校舎のうち、九小校庭に増築する校舎は、新校舎を建設する間、令和9年4月から令和12年3月頃までの間使用し、令和12年4月に新校児童が七小敷地の新校舎に移ったら、解体・撤去します。